

専門知識形成論

Expert Knowledge Formation

1学期		木曜日	3・4時限	講義室：7A203	
担当教員	松本浩一	研究室	301	オフィスアワー	10:00～18:00
科目の概要	<p>前半は、漢籍の分類法である四部分類について、『四庫全書総目提要』Ⅱ採用されたものを基準として解説を加えていく。そしてその欠点と修正の試みについて論ずる。分類法とともに、日本人にとっても古典として重要な位置を占めてきた、漢籍の古典についての概要をつかむことも目的とする。後半は、現存最古の漢籍目録である『漢書』芸文志をはじめ、各時代に作られた主要な漢籍目録の構成と特色について紹介し、各時代に図書整理事業がどのように進められてきたかを論ずる。</p>				
授業予定	<p>四部分類の概要（経部） 四部分類の概要（史部） 四部分類の概要（子部・集部） 四庫分類の欠点とその後の修正の試み 『漢書』芸文志 『隋書』経籍志 唐・宋時代の書目 『通志』校讐略と目録学の理論 『四庫全書』と『四庫全書総目提要』 明清時代の書目と『校讐通義』</p>				
達成目標	<p>ここでは、漢籍の古典にはどのようなものがあるか、そして千年以上の長きにわたって用いられ、現在でも使用されている分類法である四部分類について、概要をつかんでもらうことが目標となるが、現在でも漢籍古典の整理および検索にはこれが用いられているので、概要をつかんでもらうのはあくまで前提であり、実際に使いこなせるようになることが目標である。さらに後半の講義では、古典の整理がどのように行われてきたか、その結果どのような目録が生み出されてきたかを学ぶことで、現在漢籍古典の整理事業が直面している様々な問題点に対する理解を深めることを目標とする。</p>				
評価の方法	出席とレポートによる				
教科書または参考書	<p>プリントを配布する 参考書は講義の中で紹介する</p>				
テレビ会議システムの利用	無				
その他					